



伊方町 事務課 伊方町 印刷部 保内町南字民部印刷部 電話 保内局 276 番

10月の税金 国民健康保険税 10月で 町民はま 納税日

第18回定例町議会開く

決算など十九議案を可決

第十八回伊方町議会定例会は、決算などのついで、定められた八月から一カ月おくれ、九月二十二日に招集され、会期二日間、三十年度決算の認定など、十九の議案と、十の協議案を審議して翌二十三日に閉会しました。主な議案の内容は、次のようなものでした。――決算については、先月の本紙であらましお知らせしましたので省略します。

消防車・二見小増築など

一般会計の予算は、こんどの議会で、三、三三三万円追加されることとなり、総額九、七七一万円になりました。こんどの追加更正予算は、三千万円以上ものぼる、非常に大きな追加額になっておりますが、それは、先月の本紙でお知らせしました、予算外の実質赤字一、二七四万円の予算化と、三十年度決算の単年度赤字発生にもなり、繰上充用金の増額九、一五万円が含まれているからです。それでこれらと、赤字に関するものを除くことになり、この追加額は、一、一六三万円になります。

議員の報酬を改訂

伊方町の議員の報酬は、非常に低く、郡内でも最も低かったため、上充用金の増額九、一五万円が含まれているからです。それでこれらと、赤字に関するものを除くことになり、この追加額は、一、一六三万円になります。

教育委員に永野鉄次氏

町教育委員で、教育長を助めている阿部澄夫氏が、この九月末日、任期満了となるため、その後任として、水野鉄次氏を任命したいとの町長の提案に対し、議会は全会一致で承認しました。

畜産事務所の運営

長年、畜産農家のみなさんに親しむことになりました。伊方中学校の畜産伊方農協に移管する時期は、この十一月一日、施設は貸与、器具備品は無償譲渡、職員は農協職員に切り替えて引きつづけることになりました。

電々公社が農道を

日本電信電話公社では、ことし中に、伊方越の野橋というところ、マイクローエーブの中継線を建てることになりました。

伊方中校舎の

伊方中学校校舎の増築が陣情されていきました。町では、このことを何とか実現したいと考え、まず危険校舎として認定してもらおうという調査を行なっています。

議会議費	一、二二万円
役場費	一、〇九六万円
消防費	二、三〇万円
土木費	一、八〇九万円
教育費	八五九万円
社会労務費	三三二万円

議長	50,000
副議長	40,000
議員	30,000
三崎町	35,000
瀬戸町	25,000
伊方町	20,000
(従前)	(25,000)
(20,000)	(17,000)
保内町	40,000
三瓶町	35,000
	30,000

(いずれも単位は円、金額は年額)

町教育委員で、教育長を助めている阿部澄夫氏が、この九月末日、任期満了となるため、その後任として、水野鉄次氏を任命したいとの町長の提案に対し、議会は全会一致で承認しました。

公平委員会の事務を

公平委員会は、地方公務員法によって、必ず置かなければならぬとされ、県へその事務を委託すれば、置かなくてもよいことになっていました。

公平委員会のしごと

公平委員会のしごと、町民のみなさんは、あまり聞いたことがないと思いますが、この公平委員会は、他の一般労働者のように、審査、判定、場合によってはストや争議のできない、地方公務員は町長などに勧告する機関です。

十一月から農協に移す

長年、畜産農家のみなさんに親しむことになりました。伊方中学校の畜産伊方農協に移管する時期は、この十一月一日、施設は貸与、器具備品は無償譲渡、職員は農協職員に切り替えて引きつづけることになりました。

電々公社が農道を

日本電信電話公社では、ことし中に、伊方越の野橋というところ、マイクローエーブの中継線を建てることになりました。

伊方中校舎の

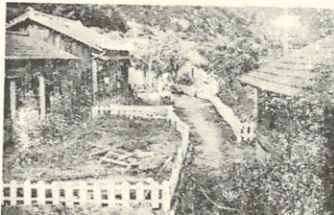
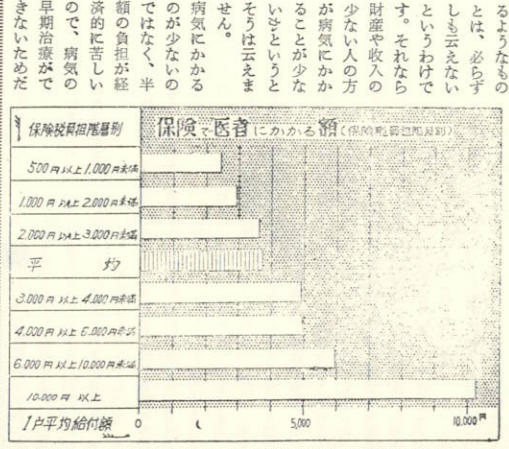
伊方中学校校舎の増築が陣情されていきました。町では、このことを何とか実現したいと考え、まず危険校舎として認定してもらおうという調査を行なっています。

伊方中校舎の

伊方中学校校舎の増築が陣情されていきました。町では、このことを何とか実現したいと考え、まず危険校舎として認定してもらおうという調査を行なっています。

保険で医者にかかる額

ほほ保険税に比例 三千万以上四千万未満一九二、少ないので、国保は貧乏、ろうと思われま。



(写真は、農協移管のきまつた、畜産事務所)



(写真は耐力度調査を行なった伊方中校舎)

